

第12回天気予報研究会開催のお知らせ

第12回天気予報研究会は、3日から10日の中期予報に焦点を当てて、中期予報システムの特徴や具体的な利活用の仕方について議論します。入場は無料です。

講演要旨などについては気象学会の天気予報研究連絡会のホームページに掲載する予定です。

日時：2015年2月20日（金）13時30分～17時00分

場所：気象庁講堂（気象庁2階）

発表題目（順不同）：

1. 「気象庁現業アンサンブル予報システムの特徴と顕著現象予測への利活用」
経田正幸（気象庁予報部数値予報課）
2. 「アンサンブル予報技術の現業業務での利活用～週間天気予報～」
高山 大（気象庁予報部予報課）
3. 「気象庁の台風進路予報について」
上野幹雄（気象庁予報部予報課アジア太平洋気象防災センター）
4. 「さくらんぼ栽培と天気予報」
齊藤幸宏（齊藤農園，日本気象予報士会東北支部）
5. 「週間天気予報の最低／最高気温は、平年値から大きく隔たる値をどのように予報しているか？」
内山常雄（日本気象予報士会神奈川支部）
6. 「夏の1か月予報～週間予報支援図から、集中豪雨を予測できないか？」
藤井 聡（日本気象予報士会静岡支部）

主催：日本気象学会天気予報研究連絡会

問い合わせ先：下山紀夫（日本気象予報士会）

n-shimoyama@nifty.com